

部品 用品 整備

最新動向

テクノレーダー

10

ガラスエッチングサービス

自動車盗難防止の注目サービスが、法改正により普及の兆し



一部のトヨタディーラーでもガラスエッチングサービスを実施している。施工料金は1万円。施工時間はおよそ30分と意外に短い。写真の「セーフティコード」は車台番号を刻印するのみだが、他の機材の中にはパソコンを連動させてイラストもエッチングできるタイプもあり、新しいカスタマイズ系サービスとしての可能性も期待できる。

ただし国土交通省では、盗難防止を目的にする以外のエッチングやステッカー貼付を認めていないので、カスタムニーズには慎重な対応が必要となるだろう。

手頃な価格の盗難防止サービスが注目

近年、自動車盗難が急増しているのに伴って、盗難防止に効果のある電子装置や関連サービスに力を入れるカー用品店やディーラー、専門店が増えてきた。

これまでの自動車盗難といえば、キーを付けたまま被害に遭う『キーあり盗難』が多い印象があったが、実は最近ではドアロックしていたにも関わらず盗まれてしまう『キーなし盗難』が急増している。

また、以前のように高級セダンやRVだけではなく、ファミリーカーやスモールカーも盗難の対象になっているという。

キーなし盗難の急増を受けて、カー用品店では振動を感知するセンサーと警報装置を車体に取付ける「カーセキュリティシステム」のラインナップを充実させているが、商品価格と工賃が高額になる傾向があり、高級セダンやRVのエンドユーザーに支持されるにとどまっているという。

そうした中であって、1万円前後の価格で高い効果が期待できるサービスとして注目が高まっているのが『ガラスエッチングサービス』だ。

プロの手腕が発揮できる本格サービス

ガラスエッチングとは、粒子状の研磨材をエアの圧力で吹き付け、ガラス面に車台番号を刻印（エッチング）するのが特徴だ。

車両窃盗団は、盗んだクルマの車台番号を偽造して転売するケースが多いとされているが、ガラスエッチングをしておく窃盗団はガラスも交換しないと転売できなくなる。その費用は数十万円となるため、リスクを恐れた窃盗団がガラスエッチングを見ると退散するわけだ。

国土交通省でも急増する自動車盗難に伴うユーザーの要望に対応し、クルマの側面ガラスに盗難防止のためのステッカー貼付やエッチング処理が施せるように昨年の秋に保安基準を改正した。

これによりクルマのすべてのガラスにエッチング処理ができるようになり、同サービスの普及にいつもの弾みがつく様相が高まってきた。

なお、同サービスは専用機材を使用するため、初期導入費は十数万円～40万円となっている。機材の取扱いや作業時の注意点が多いサービスだが、クルマの整備にかけてプロである整備工場にとっては、敷居の低いレベルだという。